

かりぶ新聞

発行
**社会福祉法人
 協立いつくしみの会**
 札幌市厚別区厚別中央5条6丁目5-20
 TEL(011)896-1165 FAX894-4404
 E-mail:itukusimi@karipu.jp
 2021年1月1日発行
 発行責任者 河原 政勝

新春対談

石山建治理事長・池田まさき衆院議員

コロナ禍

地域の困難な実態を直視して いのちと健康、生活を守るネットワークづくりを 〜今年も選挙の年・市民と野党の共闘で勝ちぬこう〜

石山 新年あけましておめでとうございます。今年も、よろしくお祈りします。

池田 あけましておめでとうございます。よろしくお願いいたします。よろしくお祈りいたします。

石山 今年は選挙の年です。市民と野党の共闘を大いに広げて、くらしと社会保障、福祉の展望を切り拓いていきたいと考えています。

GoToでなく医療と介護を守るコロナ対策を

石山 さて、新型コロナ

ウィルスの感染拡大、昨年は年明けから猛威をふるい、第2、第3波と押し寄せ、大変な状況です。

池田 本当に大変な事態です。これから、感染症の流行る季節が続きます。国と自治体、私たち自身もしっかりと予防、防止対策をすすめなければなりません。

石山 札幌市でも、

北区茨戸の介護老人保健施設につき、南区の特養でも大規模なクラスター（集団感染）が発生し、感染が広がりました。そして、高齢者の方々が亡くなっています。しかし、法定伝染病にもかかわらず医療が必要な方が入院できない状況が続いています。高齢者施設は、設備や構造が病院とは違い、施設の中で治療をしていくには、限界があります。感染が爆発している時に



は、医療機関にも高齢者施設にもクラスターが発生します。すでに医療崩壊がはじまる深刻な事態です。北区茨戸の教訓が本当に生かされているのか、大きな懸念があります。

池田 国は社会福祉施設等へのコロナ感染予防の対策、災害や感染症に対するBCP（事業継続計画）の義務化の検討、感染発生した場合の応援の検討をしていますが、今回、私が問題視しているのは、予算の出所。介護報酬からと、コロナ対策予算からとなっているんですが、障がい者施設はというと、そもそも枠組みがなく、すぐつかえる状況にない。

いまは緊急時なので、平時の担当部署のあるべき論を言っている場合ではなく、コロナ対策の内閣官房のところで人件費や物品などを、一括でやったらいいと思うんですが、政府はそうは動いていません。このままでは、乗り切れないと、とても心配です。

石山 今回も南区の特養での集団発生なので、介護職員、ケアワーカーの派遣要請は出されているのだけれども、簡単に応じられないのが、現場の実態です。仮に出したとしても、戻ってきた後も2週間も仕事に就けないとなると、ただでさえ人が足りないのに、そういうシステムを作り上げることは本当に大変なことなんです。

こういう福祉施設にもそもそ余裕のある仕組みがないと絶対無理だなと思います。

池田 いま国は、平時のとりくみをどうしようかということ、緊急時になつたらこうしようというスキームを検討しているんですけど、現在進行形で「今」緊急事態が発生している中で、その対策をまずとるべきだと思います。

石山 エssenシャルワーカー（感染のリスクが高いながらも社会生活を維持するために必要不可欠な仕事に従事している人達）という表現が浸透してきました。

その中で、「医療」というと多くの人は特別な対策をイメージできますが、「介護」というとあまりピンとこない。地域にいる高齢者や一人暮らしの方、乳幼児保育現場、スーパーや清掃、輸送などみんな感染リスクの高い現場で一緒です。しかし、高齢者施設や障がい者施設などでクラスターが起きている場合のリスクの違いや対応の違いは大きい。医療現場ではないけれども医療現場ではない、そのことがどういうリスクで、だからどういう特別な手立てが必要かを明確に訴え、対策につなげていかなければならないと思っています。

PCR検査の拡充と衛生材料供給を直ぐに介護施設の経営支援を

石山 医療や介護施設では「感染しない」「させない」「広げない」と毎日緊張の連続の中で、必死で働いています。患者さんや利用者さん、そして家族にとっても本当に辛い状況が続いていると思います。

(2面につづく)

本年もどうぞよろしくお願いいたします

社会福祉法人協立いつくしみの会

理事長 石山 建治

常務理事 河原 政勝

事務局次長 工藤 隆太

特別養護老人ホームかりぶ・あつべつ

施設 長 柏原 伸広

副施設長 鈴木 靖枝

ケア科長 荒木 久子

看護副科長 南 雅

介護副科長 瀬戸 美穂

デイサービスセンターかりぶ

所 長 中林 純一

訪問看護ステーションかりぶ

所 長 見上真由美

居宅介護支援事業所かりぶ

所 長 吉野真由美

シヨートステイメイプルハウス

所 長 西澤千恵美

デイサービスもみじの家

所 長 仁木 要介

ヘルパーステーションかえで

所 長 北田ひとみ

居宅介護支援事業所メイプルかりぶ

所 長 石戸谷真史

デイサービスのの

所 長 大澤真奈巳

小規模多機能ホームかりぶ

所 長 松田 梨香

高齢者生活支援ハウスえみな

施設 長 柏原 伸広

札幌市厚別区介護予防センター厚別中央・青葉

センター長 工藤 隆太

サービス付き高齢者向け住宅ぼろか

管理者 中林 絢佳



(1面からのつづき)

池田 衛生材料の調達や、経営も大変な状況と聞いていますので、現場は本当に大変だと思いま

石山 率直に言って、当法人の経営も大変です。当然収益は下がっています

ので、資金の確保が必要となり、借りれば返さなくてはなりません。結局、借金を膨らませるだけの支援です。

やっと、マスクも手に入るので、エプロンも手首まで

入るようになりましした。しっかりと防護できるようなものが必要ですが、

物が無い。手袋が本当に品薄で手に入らない。備蓄も困難な状況です。行政からは3日分くらい備

蓄しなさいと言われていたのですが、今回の例を見ても3日で収束することはあり得ないのだから、大量に必要な

池田 私のところは相談が入るのは、小さな障がい居宅介護事業所が多いので、物品の入手が困難な話を聞きます。そこで内閣官房や厚労省とのやりとりでは、法人や施設は大丈夫という話を聞いて

いますが、そうではない



のですね。

石山 現場の実態は、そうではないですね。病院も困っています。やはり、現場の実態が反映していないと感じています。

池田 「やつています」とい

うばかりですね。石山 医療機関へのお金の支給もほとんど未執行なんです。医療や介護報酬を前年度の実績で概算払いする等の対応が必要

です。やはり消費税の負担がなくなるだけでも随分と違うだろうと思います。

池田 本当にそう思いますが、そう

ですね。石山 全体に行き渡る施策をよく考えてやつてほしいと思います。

池田 デイは、すぐに反映できることが多いと思います。私たちが、今、提言にまとめているところ

です。石山 まだ苦難は続々と

思います。ぜひ、いろいろな施策をお願いしたいと思

います。池田 はい。

石山 うちの施設や事業所でも、発熱者はやはり

です。PCR検査の対象として

池田 PCR検査の状況はどうですか。

石山 以前よりも受けやすくなっているとは思いますが、このように感染が拡大してくると、検査を受けるための順番



ち、簡易キットも郵送されるようになり、結果待ちという状況はあります。

池田 基本的には、公費で賄われているというこ

とですよ。石山 今は、医療機関や

高齢者施設で働いていま

すと伝えると優先的には受けられるようにはなっ

てきていますが、何にも言わなければ「熱がある」と伝えても、「もう少し様子見てください」とい

われま

池田 そういう感じなん

です。石山 クラスターが発生

した中学校では、クラスターが発生したクラスと

その隣のクラスも濃厚接

触と認定され、学校を通じて、キットが送られて

きたようです。その家族も検査をするという例も

追いつかないのかもしれないけど、まず、そこ

は必要ですよ。まだ、ワクチンも治療薬もない状況なので、

池田 基本的には、公費で賄われているというこ

とですよ。石山 今は、医療機関や

高齢者施設で働いていま

すと伝えると優先的には受けられるようにはなっ

てきていますが、何にも言わなければ「熱がある」と

伝えても、「もう少し様子見てください」とい

われま

池田 そういう感じなん

です。石山 クラスターが発生

した中学校では、クラスターが発生したクラスと

その隣のクラスも濃厚接

触と認定され、学校を通じて、キットが送られて

きたようです。その家族も検査をするという例も

が財政を出していく、支援をしていくというところを明確にして、真剣に

考えるべきだと思います。石山 それは地震や津波

などとは限らず感染症も災害対策の一環として

池田 そうです。災害救助法は、起きた後の措置

です。無差別平等だつたり、現在地保護であつ

たり、職権保護という原則は、国の責務が明確

です。災害対策基本法は、今年

の通常国会で改正しようとして

防をどうするか計画をどうすると

業所のBCP策定を義務づけるという話が出て

るわけですね。ただでさえ忙しい現場で、しかも効

果的な訓練、実践をしな

ければならないので、その際、人的な

協力関係を結んでおかなければならないと考

え、かなり時間がかかると思います。そういう仕

験にも学んで、今つくって

池田 それは、想像できるからですよ。今であれば

池田 私は自治体には

池田 私は自治体には

池田 私は自治体には

池田 私は自治体には

池田 私は自治体には

池田 私は自治体には

池田 私は自治体には

池田 私は自治体には

池田 私は自治体には

池田 私は自治体には

池田 私は自治体には

池田 私は自治体には

池田 私は自治体には

がまさにそうでしたし、介護もそうですよ。縮小されたり廃止されたところこそ機能不全となつた。やはり介護スタッフ、ケアマネもゼロはだめ

池田 私は自治体には

池田 私は自治体には

池田 私は自治体には

池田 私は自治体には

池田 私は自治体には

池田 私は自治体には

池田 私は自治体には

池田 私は自治体には

池田 私は自治体には

池田 私は自治体には

池田 私は自治体には

池田 私は自治体には

池田 私は自治体には

策では見えてこないところに私たちの生活が

池田 私は自治体には

池田 私は自治体には

池田 私は自治体には

池田 私は自治体には

池田 私は自治体には

池田 私は自治体には

池田 私は自治体には

池田 私は自治体には

池田 私は自治体には

池田 私は自治体には

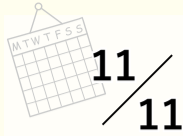
池田 私は自治体には

池田 私は自治体には

池田 私は自治体には



(4面につづく)



11/11 介護・認知症 相談☎ホットライン



「いい介護の日」では、電話相談会がおこなわれました。中央社保協と認知症の人と家族の会が主催で全国で取り組まれました。

ホットラインには、「コロナ感染予防のため、病院に入院中の母親に会えない」「施設に入所している母親に会えない」「コロナの相談をしても繋がらない」「この時期、母の健康診断を受けるのが心配」など、新型コロナウイルス感染が広がる中での悩みや相談が多く寄せられました。

参加したケアマネジャーや介護支援専門員協会の相談員のみなさんは、ひとつひとつ丁寧に悩みや相談に対応していました。当法人からも、2人のケアマネジャーが参加しました。



いい介護の日

コロナ禍ではありましたが、

元気に札幌駅前 スピーチと宣伝行動!!

介護改善署名にご協力を!!

介護福祉士の関根さんは、「利用者さんからは、訪問すると、来てくれたの、嬉しい」、帰るときには「ありがとう、待つ

ているね」と励まされ、次の利用者宅へ向かう。役立っていると実感できる仕事にやりがいを感じている。ヘルパーは50歳以上が半数、最高齢は70歳。若い世代が希望を持てるような処遇改善を」と5ヶ月後の報酬改定に期待を込めました。

集会では、田村事務局員からは、「介護保険制度が始まって20年。介護の社会化」と言っ

今後も不安定。国に減収分の補填を求めたい」と訴えました。

現在では介護サービスを利

市や北海道に要請してき

利用控えによる減収は3月が最大、利用者さんは戻ってきてくれているが

市や北海道に要請してき

市や北海道に要請してき

11月11日は、厚労省が決めた「いい介護の日」。今年、5回目の札幌駅前ひろばでのスピーチと宣伝行動となりました。

介護労働者や利用者、家族が参加して、国と自治体の責任で介護処遇の改善や、介護事業所への減収補填と財政支援を訴えました。

私の生活はこれからどうなるのか、不安でしょうがない。介護職員の賃金を上げてほしいし、事業所の経営が成り立つ報酬にすべき。私たちの税金を人の命を守るために使ってほしい」と話してくれました。

コロナの影響で「フレイル」に?

佐藤 佑樹 リハビリ技士長 (理学療法士)

▶ 感染対策とフレイル

2020年は皆さまにとってどのような1年でしたでしょうか。大きな出来事は新型コロナウイルスの影響が現在まで続き、私たちの生活が一変してしまったことではないでしょうか。さて、今回は介護予防の観点から新型コロナウイルスとの付き合い方を考えていきたいと思います。感染予防としての3密を避ける、食事の際の会話は避ける、不要不急の外出は自粛するなどの対策は重要なのですが、この対策が長期間に続き、感染を恐れるあまり外出を控え過ぎると、動かない時間が増え、最近新聞などで目にする『フレイル』になってしまう可能性があります。

▶ フレイルとは?

フレイルとは「虚弱」という意味です。「虚弱」と聞くと、もう良くならない、治らないとマイナスのイメージを持つ人が多いかと思います。そこで2014年に日本老年医学会は高齢者の虚弱を「フレイル」と提唱しました。多くの高齢者は自立の状態からフレイル→要介護と進行していき、フレイルは中間の段階にあたります。このフレイルの段階を早期に発見し、適切な対策を行うことで、要介護になることを予防でき、これまで送られていた生活に戻れることができるのです。

おうちでできるフレイル予防

今回は2つの生活の中のできる運動をお伝えします。まだまだ油断のできない日は続きますが、コロナに、フレイルに負けないように自宅でできる運動に取り組んでください!

※実際に行うときには、手すりなどにつかまる、後ろに椅子を用意するなどして、転倒に十分に注意してください。また現在通院している、または介護保険のサービスを利用している方は、実施する前に主治医やリハビリ技士に相談してから行ってください。

1. スクワット

良い方法



- ①肩幅よりもやや広めに足を広げて、立ちます。(つま先は時計の2時と11時の方向にむけます。)
 - ②遠くにある椅子に座るイメージで、おしり・腰をおろします。(膝がつま先よりも前にでないようにしましょう。)
 - ③倒れない範囲までおしり・腰をおろし、ゆっくりと元に戻ります。
- ポイント：背筋を伸ばし、正面を見ましょう。スクワットは膝ではなく、おしり・腰を下ろすことが重要です。
- 回数など：1日10回程度からはじめ、慣れてきたら回数を増やしましょう。テーブルや手すりなどにつかまって行ってもよいです。

悪い方法



良くない、スクワットです。良い方法と比べると、背中と膝が大きく曲がり、膝がつま先よりも前に出てしまっています。この姿勢は腰、膝への負担が大きく、痛みが生じる可能性があります。スクワットは膝を曲げるのではなく、おしりを動かすことがポイントです!

生活の中にスクワット

食事の際に食卓の椅子に座る前に！ トイレのあとに！ テレビのCMの合間に！

2. かかと上げ

良い方法



- ①椅子の背もたれやテーブルにつかまり、かかとを上げます。
 - ②この時、できるだけ足の指先に体重がかかるように、しっかりとかかとを上げましょう。
- ポイント：指先が曲がるくらいまでかかとを上げます。ここまで上げられると、ふくらはぎ全体に力が入る感覚があります。
- 回数など：1日10回程度からはじめ、慣れてきたら回数を増やしましょう。



悪い方法



良くない、かかと上げです。良い方法と比べると、かかとの上がりがわずかで、頭の位置が低いです。しっかりと足の指先に体重がかかることで、背すじも伸び、効果的な運動方法となります。

生活の中にかかと上げ

台所仕事の最中に！ テレビを見ながら！ 歯磨きをしながら！

